

表1

## 学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(返子市立久木小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

I 子どもたちの学力向上

○学校教育総合プランの項目

1 個に応じた指導の充実

### 実施計画

#### ①実施計画の重点等

- ・基礎学力の定着のため、多様な学習形態を活用し、指導法の工夫改善を進める。
- ・支援教育充実のため、教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実を図るとともに外部機関との連携を強化する。

#### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・家庭での学習習慣の確立等、個に応じた家庭学習の在り方について家庭との連携を図る。
- ・外部機関及び幼保小中の連携を密にし、支援教育を進める。

表1

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 「確かな学力」を育むための個に応じた指導の充実	①単元計画に基づき、毎時間の授業展開の工夫改善を図る ②少人数指導、チームティーチング、小集団等、多様な学習形態を活用し、基礎・基本の定着を図る	①単元計画に基づき、毎時間の授業展開の工夫改善を図る ②少人数指導、チームティーチング、小集団等、多様な学習形態を活用し、基礎・基本の定着を図る	①単元計画に基づき、毎時間の授業展開の工夫改善を図る。 ②少人数指導、チームティーチング、小集団等、多様な学習形態を活用し、基礎基本の定着を図る。
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①継続的な課題であり、取り組みを続けた。 ②児童の学力向上に取り組むべく、学習形態の工夫、スクールライフサポーターなどを活用し基礎学力の定着を図った。人的環境の充実を望む。	成果と課題 ①継続的な課題であり、引き続き取り組みを続けたい。 ②児童の学力向上に取り組むべく、一単元の中においても学習集団の実態に合わせ、チームティーチングや少人数指導などを効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を目指した。本校児童の学習の定着状況を確認し、課題がどの学年の何に起因しているかを全職員で調査研究した(算数)。これは、本校の教育課程を編成する上においても、また、校内研究(算数)を推進する上においても非常に重要な資料となっている。	成果と課題 ①継続的な課題であり、引き続き取り組みを続けたい。 ②児童の学力向上に取り組むべく、一単元の中においても学習集団の実態に合わせ、チームティーチングや少人数指導などを効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を目指した。昨年度の調査に基づき、学年内で取り組みを進めた。
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 「読解力」向上の取り組みの推進	①国語科、各教科、道徳、総合的な学習の時間を通して、言語活動の充実を図る	①国語科、各教科、道徳、総合的な学習の時間を通して、言語活動の充実を図る	①国語科、各教科、道徳、総合的な学習の時間を通して、言語活動の充実を図る。
	(評価) ① 達成した	(評価) ①達成した	(評価) ①達成した
	成果と課題 ①各教科・領域において言語活動の充実を目指す授業づくりを進めた。特に、校内研究において算数科に取り組み、授業実践を通し研究を深めた。次年度も継続する。	成果と課題 ①各教科・領域において言語活動の充実を目指す授業づくりを進めた。校内研究においては、昨年度に引き続き、授業実践を通して研究を進めてきた。上記「①成果と課題」の調査結果(算数)からは、低学年の語彙力や理解力、文章理解力、経験域の狭さなども課題として挙がってきている。言語活動の充実を図るためにも、低学年指導の在り方についても考えていきたい。	成果と課題 ①言語活動の充実が学力を高める手段であって目標ではないが、重要な事柄であるとの認識に基づき、校内研究において取り組んでいる。

表1

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>行動プラン</p> <p>③ 読書活動の推進</p>	<p>①読書活動推進全体計画に基づき、児童の成長を踏まえた指導の充実を図る</p> <p>②司書教諭、学校図書館指導員、学習支援ボランティアを活用し、読書活動を推進する</p> <p>③お話し会による読み聞かせ等の活動を行う。</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①計画通り実施できた。引き続き、学年に応じた読書指導の充実を目指していきたい。</p> <p>②児童の間に読書活動が定着している。図書委員会の活動も自主性を増している。</p> <p>③学年の実態に応じた内容を設定することができた。</p>	<p>①読書推進活動全体計画に基づき、児童の成長を踏まえた指導の充実を図る</p> <p>②司書教諭、学校図書館指導員、学習支援ボランティアを活用し、読書活動を推進する</p> <p>③お話し会による読み聞かせ等の活動を行う。</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①計画通り実施することができた。引き続き、学年に応じた読書指導の充実を目指したい。</p> <p>②朝読書が定着している。図書委員会の活動がより主体的になってきている。</p> <p>③学年の実態に応じた内容を設定することができた。</p>	<p>①読書推進活動全体計画に基づき、児童の成長を踏まえた指導の充実を図る。</p> <p>②司書教諭、学校図書館指導員、学習支援ボランティアを活用し、読書活動を推進する。</p> <p>③お話し会による読み聞かせ等の活動を行う。</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①計画通り実施することができた。引き続き、学年に応じた読書指導の充実を目指したい。</p> <p>②朝読書が定着している。図書委員会の活動がより主体的になってきており、図書ボランティアは後期から入る必要はなくなった。</p> <p>③学年の実態に応じた内容を設定することができた。</p>
<p>行動プラン</p> <p>④ 校内支援体制を活用した支援教育の推進</p>	<p>①教育相談コーディネーターを中心に校内支援体制の充実を図り、子どもたちの教育的ニーズに応じ、具体的支援を行う</p> <p>②教育研究所、子育て支援課、児童相談所等の外部機関と連携を深める</p> <p>③幼・保・小・中連携を深め、情報交換を密にする</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①定期的に児童を見取り、情報共有を行い、必要に応じてケース会議等を設定することができた。引き続き、児童・保護者への支援や対応の充実を図りたい。</p> <p>②支援教育推進巡回指導員・スクールカウンセラーと連携し、支援に役立てることができた。</p> <p>③特に、幼稚園・保育園、療育相談との連携を深めることができた。今後も継続していきたい。</p>	<p>①教育相談コーディネーターを中心に校内支援体制の充実を図り、子どもたちの教育的ニーズに応じ、具体的支援を行う</p> <p>②教育研究所、子育て支援課、児童相談所等の外部機関と連携を深める</p> <p>③幼・保・小・中連携を深め、情報交換を密にする</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①定期的に児童や学習集団を見取り、情報共有を行い、必要に応じてケース会議等を設定し、具体的な対応について検討をすることができた。ケース会議を定期的に実施することで、児童の変容や課題などを確認し、保護者の理解を得ることにつながる事案もあった。</p> <p>②巡回相談員・スクールカウンセラーと連携し、支援に役立てることが出来た。</p> <p>③幼稚園、保育園、療育相談との連携を深めることが出来た。中学進学に向け、中学校と定期的に連携を図ることが出来た。</p>	<p>①教育相談コーディネーターを中心に校内支援体制の充実を図り、子どもたちの教育的ニーズに応じ、具体的支援を行う。</p> <p>②教育研究所、子育て支援課、児童相談所等の外部機関と連携を深める。</p> <p>③幼・保・小・中連携を深め、情報交換を密にする。</p> <p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題</p> <p>①課題を抱えた児童等については定期的に、突発的な事案については適宜、情報共有を行い、必要に応じてケース会議等を設定し、具体的な対応について検討をすることができた。ケース会議を定期的に実施することで、児童の変容や課題などを確認し、保護者の理解を得ることにつながる事案もあった。また、巡回指導員・スクールカウンセラーにつなげることができた。</p> <p>②支援教育推進巡回指導員・スクールカウンセラーと連携し、支援に役立てることが出来た。児童相談所・子育て支援課とも連携が進んでいる。</p> <p>③幼稚園、保育園、療育相談との連携を深めることが出来た。中学進学に向け、中学校と定期的に連携を図ることが出来た。</p>

表1

## 学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(返子市立久木小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

I 子どもたちの学力向上

○学校教育総合プランの項目

2 健やかな心と身体の育成

### 実施計画

#### ①実施計画の重点等

- ・学校支援地域本部事業を推進し、地域と連携した体験活動を行う。
- ・基本的な生活習慣の育成を図り、地域・保護者との連携を進めるために情報発信に努める。

#### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・学校支援地域本部事業における支援ボランティアの協力を得て体験活動を行う。
- ・日常の生活習慣の育成をめざし、保護者・地域と連携協力の充実を図る。
- ・校庭芝生化検討委員会を設置し、地域ボランティアの協力を得て芝生化への取り組みを継続する。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 基本的な生活習慣の育成	①学級指導の中で基礎的な生活習慣等の指導を行う ②学校・保健だより等を通して情報を発信する ③学級懇談、個人面談等の機会を利用し、保護者と連携した取り組みを進める	①学級指導の中で基礎的な生活習慣等の指導を行う ②学校・保健だより等を通して情報を発信する ③学級懇談、個人面談等の機会を利用し、保護者と連携した取り組みを進める	①学級指導の中で基礎的な生活習慣等の指導を行う。 ②学校・保健だより等を通して情報を発信する。 ③学級懇談、個人面談等の機会を利用し、保護者と連携した取り組みを進める。
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した
	成果と課題 ①全職員の一一致した取り組みが重要である。特に、全校集会での話の聞き方の向上が見られた。日常的な指導の継続の必要を感じる。 ②学校だより、保健だよりなどの通信は、実態に応じ計画的・意図的に発行することができた。 ③各クラスで取り組んだ。保護者の理解には差があり、一層の努力を必要とする。	成果と課題 ①全職員の一一致した取り組みが重要である。全校集会での話の聞き方に児童の成長がみられる。各学級においては、担任が必要に応じ、現状に合った指導を丁寧に繰り返してきたことの成果が出てきたと感じる。 ②学校だより、保健だより、学校ホームページなどの情報発信は、意図的効果的に行うことが出来た。 ③各クラスで取り組んだ。保護者の理解には差があるので、引き続き、担任の思いが伝わる、保護者の思いを受け止める、丁寧な連携を意識していきたい。	成果と課題 ①各学級において、担任が必要に応じ、現状に合った指導を丁寧に繰り返してきたことの成果が出てきている。基礎的な生活習慣の確立については家庭との連携を今まで異常に進めていきたい。 ②学校だより、保健だより、学校ホームページなどの情報発信は、効果的に行うことが出来た。 ③保護者の理解には差があるので、引き続き、実態に応じた対応を図っていきたい。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 豊かな心を育む道德教育の推進	①道德教育全体計画に基づき、他の学習活動と関連させながら計画的・発展的な指導を行う ②日常のあいさつを心掛けたり、コミュニケーションを深めたりする取り組みを行う	①道德教育全体計画に基づき、他の学習活動と関連させながら計画的・発展的な指導を行う ②日常のあいさつを心掛けたり、コミュニケーションを深めたりする取り組みを行う	①道德教育全体計画に基づき、他の学習活動と関連させながら計画的・発展的な指導を行う。 ②日常のあいさつ心掛けたり、コミュニケーションを深めたりする取り組みを行う。
	(評価) ① 達成した ② 達成できなかった	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した
	成果と課題 ①道德教育の全体計画に基づき、日常化を目指す取り組みが進んだ。 ②朝会、学級指導等を通して取り組んだ。日常化を図るべく、保護者・地域の協力を得ながら継続していきたい。	成果と課題 ①道德教育の全体計画に基づき、日常化を目指す取り組みを進めることが出来た。 ②朝会、学級指導等を通して取り組んだ。以前よりあいさつの声が聞こえるようになってはきた。更なる日常化を図るべく、保護者・地域の協力を得ながら継続した取り組みをしていきたい。	成果と課題 ①道德教育の全体計画に基づき、日常化を目指す取り組みを進めることが出来た。また、道德の教科化について教員で情報共有を図った。 ②「学校づくりアンケート」ではあいさつについて、保護者・児童とも「できている」との評価が高かった。更なる日常化を図るべく、保護者・地域の協力を得ながら継続した取り組みをしていきたい。

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>行動プラン</p> <p>③ 豊かな体験活動の推進</p>	<p>①稲作り、大豆づくり等、地域と連携した体験活動を行う</p> <p>②キャンプ、修学旅行の取り組みを通し、自然・文化にふれあう体験を行う</p>	<p>①稲作り、大豆づくり等、地域と連携した体験活動を行う</p> <p>②キャンプ、修学旅行の取り組みを通し、自然・文化にふれあう体験を行う</p>	<p>①稲作り、大豆づくり等、地域と連携した体験活動を行う。</p> <p>②キャンプ、修学旅行の取り組みを通し、自然・文化にふれあう体験を行う。</p>
	<p>(評価)</p> <p>① 達成した ② 達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した</p>
	<p>成果と課題</p> <p>①学習支援ボランティアを活用し、体験学習に取り組んだ。稲作、大豆づくり、味噌作りは、久木小の体験学習として位置づいている。継続的な取り組みを大切にしていきたい。</p> <p>②計画通り実施することができた。特別活動の改善点である「よりよい人間関係を築く力」「本物の自然や文化の価値や大切さを実感する機会」を意識し、一層の活動の充</p>	<p>成果と課題</p> <p>①学習支援ボランティアを活用し、体験学習に取り組んだ。稲作、大豆づくり、味噌作りは、久木小の体験学習として位置づいている。継続的な取り組みを大切にしていきたい。</p> <p>②計画通り実施することが出来た。特別活動の改善点である「よりよい人間関係を築く力」「本物の自然や文化の価値や大切さを実感する機会」を意識し、一層の活動の充</p>	<p>成果と課題</p> <p>①学習支援ボランティアを活用し、体験学習に取り組んだ。稲作、大豆づくり、味噌作りは、久木小の体験学習として位置づいている。継続的な取り組みを大切にしていきたい。</p> <p>②林間学校の取り組みについて、今年度、検討委員会を立ち上げて再検討を行い、教育課程上の課題について今後取り組んでいくことを確認した。</p>
<p>行動プラン</p> <p>④ 食育と体力づくり・健康教育の推進</p>	<p>①保健安全年間計画、給食指導年間計画等に基づいた指導を進める</p> <p>②校庭芝生化に取り組み、子どもの体力向上について検討を進める</p>	<p>①保健安全年間計画、給食指導年間計画等に基づいた指導を進める</p> <p>②校庭芝生化に取り組み、子どもの体力向上について検討を進める</p>	<p>①保健安全年間計画、給食指導年間計画等に基づいた指導を進める。</p> <p>②校庭芝生化に取り組み、子どもの体力向上について検討を進める。</p>
	<p>(評価)</p> <p>① 達成した ② 達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>①達成した ②達成した</p>
	<p>成果と課題</p> <p>①計画通りに実施することができた。</p> <p>②芝を植えることで土壌の改良が進み、水はけが良くなっている。芝の管理は、地域の教育力を活用し、保護者・地域を中心に対応を図ることができた。年間を通した芝の定着をめぐりたい。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①計画通りに実施することが出来た。</p> <p>②芝の管理は、地域の教育力を活用し、保護者・地域を中心に対応を図ることが出来た。校庭のどの場所が芝の定着率が高いかなどの研究を重ねた。結果、校舎に沿ったところをグリーンベルトにすることが効果的であること、3月下旬に植えた芝が定着すれば、約半年緑の芝の中で教育活動を行えることなどの予測を持つことが出来た。次年度は、検証し方向性をまとめていきたい。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①計画通りに実施することが出来た。</p> <p>②芝の管理は、地域の教育力を活用し、保護者・地域を中心に対応を図ることが出来た。次年度以降は、今年度、教育総務課と確認したことを踏まえて取り組みを進めていきたい。</p>

## 学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立久木小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

1 多様な教育的課題への対応

### 実施計画

#### ①実施計画の重点等

- ・地域との連携により, 子どもの安全確保を図る。
- ・いじめ・不登校への対応について, 早期発見・早期対応に努める。
- ・幼・保・小・中との連携に努め, 子ども理解に基づいた指導を進める。

#### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・各地区の見守り隊の協力で登下校時の安全確保を行う。
- ・教育課程に応じた学校支援ボランティアの協力を得て活動を進める。



	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>行動プラン</p> <p>① 学校安全の推進</p>	<p>H25(2013)年度予定取り組み内容</p> <p>①防犯教室、不審者対応訓練を行い、子どもたち、教職員の防犯意識を高める ②PTA、地域ハトロール体制と連携し、子どもの安全確保に取り組む ③防災アドバイザーによる地域の状況確認と防災・減災の在り方について検討を進める</p> <p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p> <p>成果と課題 ①年間計画通り訓練等を実施した。継続的指導により防犯意識を高めた。 ②地域と連携した取り組みは継続している。PTA予算から学校用備蓄品(水、ビスケットなど)を購入し、教室棟屋上入口に保管することができた。 ③防災アドバイザーを活用し、防災体制の見直しを図った。それにより、震度5弱以上(津波警報)の際の避難について確認することができた。引き続き、防災体制について研究・検討及び整備を図っていきたい。</p>	<p>H26(2014)年度予定取り組み内容</p> <p>①防災教育年間計画の作成に取り組む ②防犯教室、不審者対応訓練を行い、子どもたち、教職員の防犯意識を高める ③PTA、地域ハトロール体制と連携し、子どもの安全確保に取り組む</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題 ①これまで行ってきた避難訓練や引取り訓練などを見直し、年間を見通した「防災教育年間計画」としてまとめた。この中には、授業との関連や防災意識を育てるためのオリエンテーションなども組み入れた。次年度、実施しながら検証・研究を進めたい。 ②年間計画通りに訓練等を実施した。継続的指導により、児童の防犯意識を育てたい。 ③地域と連携した取り組みは継続している。特に、見守り隊の地道な活動により地域の防犯意識が高まっていると感じる。児童には「自分の命は自分で守る」意識を育てていきたい。</p>	<p>H27(2015)年度予定取り組み内容</p> <p>①防災教育年間計画の作成に取り組む。 ②防犯教室、不審者対応訓練を行い、子どもたち、教職員の防犯意識を高める。 ③PTA、地域ハトロール体制と連携し、子どもの安全確保に取り組む。</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題 ①前年度作成した「防災教育年間計画」に従い計画的に取り組んだ。 ②年間計画通りに訓練等を実施した。継続的指導により、児童の防犯意識を育てたい。 ③地域と連携した取り組みは継続している。今年度は、近隣の保育園との連携も進めることができた。</p>
<p>行動プラン</p> <p>② 問題行動等への対応の推進</p>	<p>H25(2013)年度予定取り組み内容</p> <p>①「久木小学校いじめ防止基本方針」に基づいた指導の充実を図る ②教育相談コーディネーターを中心とした支援体制の充実を図り、子どもや保護者のニーズに具体的支援が行えるよう努めていく ③外部機関やスクールカウンセラー、巡回指導員等との連携を深める</p> <p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p> <p>成果と課題 ①基本方針に基づいた指導を実践した。 ②ケース会議等を踏まえ、課題を抱える児童(保護者)への対応を進めることができた。校内での共通理解も進んだ。 ③巡回相談員、スクールカウンセラー等を活用し、児童支援を進めることができた。今後一層の連携を図りたい。</p>	<p>H26(2014)年度予定取り組み内容</p> <p>①「久木小学校いじめ防止基本方針」に基づいた指導の充実を図る ②教育相談コーディネーターを中心とした支援体制の充実を図り、子どもや保護者のニーズに具体的支援が行えるよう努めていく ③外部機関やスクールカウンセラー、巡回相談員等との連携を深める</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題 ①基本方針に基づいた指導を実践した。 ②ケース会議等を踏まえ、課題を抱える児童(保護者)への対応を進めることが出来た。校内での共通理解も進んだ。 ③支援教育推進巡回指導員、スクールカウンセラー等を活用し、児童支援を進めることが出来た。必要な時にケース会議を持つことや、定期的に振り返りを行い、短期・中期目標を確認することなどが定着してきたと感じる。今後一層の連携を図りたい。</p>	<p>H27(2015)年度予定取り組み内容</p> <p>①「久木小学校いじめ防止基本方針」に基づいた指導の充実を図る。 ②教育相談コーディネーターを中心とした支援体制の充実を図り、子どもや保護者のニーズに具体的支援が行えるよう努めていく ③外部機関やスクールカウンセラー、巡回相談員等との連携を深める。</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した ③達成した</p> <p>成果と課題 ①基本方針に基づいた指導を実践した。 ②ケース会議等を踏まえ、課題を抱える児童(保護者)への対応を進めることが出来た。校内での情報共有・共通理解も進んだ。 ③支援教育推進巡回指導員、スクールカウンセラー等を活用し、児童支援を進めることが出来た。必要な時にケース会議を持つことや、定期的に振り返りを行い、短期・中期目標を確認することなどが定着してきたと感じる。今後一層の連携を図りたい。</p>

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	①小・中の連携を目指し、協議しながら取り組みを進める ②幼稚園・保育園と連携した、支援教育に取り組む	①小・中の連携を目指し、協議しながら取り組みを進める ②幼稚園・保育園と連携した、支援教育に取り組む	①小・中の連携を目指し、協議しながら取り組みを進める。 ②幼稚園・保育園と連携した、支援教育に取り組む。
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①中学校教諭による6年各クラスでの授業(算数・外国語・体育)を2月ごろに行った。夏休みにバレーボールとバドミントンの部活体験を実施したりした。また、中学校教諭の学校参観による児童理解なども実施することができた。 ②新入学児童を迎える集会を開いたり、各幼稚園・保育園への参観など、職員交流の機会を確保した。	①複数回にわたる小学校の授業見学、小学校の朝会で生徒が合唱発表、中学校教諭の6年生出前授業、夏休み中の部活体験など、年間を通して連携を深めることが出来た。 ②新入学児童を迎える集会を開いたり、各幼稚園・保育園へ参観したりするなど、職員交流の手立ての充実を図った。	成果と課題 ①複数回にわたる小学校の授業見学、中学校教諭の6年生出前授業、夏休み中の部活体験など、年間を通して連携を深めることが出来た。 ②新入学児童を迎える集会を開いたり、各幼稚園・保育園へ参観したりするなど、職員交流の手立ての充実を図った。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
④ 国際教育の推進	①小学校外国語活動の授業を通し、コミュニケーション能力の育成を図る ②IEA(国際教育指導助手)の効果的活用を図る	①小学校外国語活動の授業を通し、コミュニケーション能力の育成を図る ②IEA(国際教育指導助手)の効果的活用を図る	①小学校外国語活動の授業を通し、コミュニケーション能力の育成を図る。 ②IEA(国際教育指導助手)の効果的活用を図る。
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成できなかった	(評価) ①達成した ②達成した
	成果と課題 ①返子市外国語活動ガイドラインに基づいて、外国語活動の実践に取り組んだ。 ②IEA(国際教育指導助手)とのコミュニケーションに努め、より良い指導を考えることができた。課題は、IEA(国際教育指導助手)が毎年替わってしまうことである。	成果と課題 ①返子市外国語活動ガイドラインに基づいて、外国語活動の実践に取り組んだ。 ②昨年度とは違う形でIEA(国際教育指導助手)が配置されたこともあり、これまでに、IEA(国際教育指導助手)とコミュニケーションを取りながら外国語活動を進めていくことに困難があった。次年度は、今年度の課題を踏まえてより良い連携を図ることが出来るよう努めたい。	成果と課題 ①返子市外国語活動ガイドラインに基づいて、外国語活動の実践に取り組んだ。 ②IEA(国際教育指導助手)とのコミュニケーションに努め、より良い指導を考えることができた。課題は、IEA(国際教育指導助手)が毎年替わってしまうことである。 今年度、教員とIEA(国際教育指導助手)の間で構築した関係を、また次年度は一からはじめなければならぬ。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
⑤ キャリア教育の推進	①子どもの発達段階に応じたキャリア教育の在り方について研究・実践を図る ②教育活動全般を通じて、児童が自尊感情を高め、より良い人間関係を築くことに努める	①子どもの発達段階に応じたキャリア教育の在り方について研究・実践を図る ②教育活動全般を通じて、児童が自尊感情を高め、より良い人間関係を築くことに努める	①子どもの発達段階に応じたキャリア教育の在り方について研究・実践を図る。 ②教育活動全般を通じて、児童が自尊感情を高め、より良い人間関係を築くことに努める。
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成した	(評価) ①達成した ②達成できなかった
	成果と課題 ①社会科や生活科、総合的な学習の時間等の中で、ゲストティーチャーを招いて実践することができた。 ②教育活動全般を通し、全職員で全児童を育てる視点を持って指導に当たることができた。日常的な取り組みの継続が必要と感じている。	成果と課題 ①社会科や生活科、総合的な学習の時間等の中で、ゲストティーチャーを招いて実践することが出来た。 ②教育活動全般を通し、全職員で全児童を育てる視点を持って指導に当たることが出来た。今後も、日常的な取り組みの継続が必要と感じている。	成果と課題 ①社会科や生活科、総合的な学習の時間等の中で、ゲストティーチャーを招いて実践することが出来た。 ②教育活動全般を通し、全職員が共通理解をして「キャリア教育」の視点を持ちながら指導に当たることができたと自信を持って言えない。今後も、日常的な取り組みの継続が必要と感じている。

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
⑥ 福祉教育の推進	<p>行動プラン</p> <p>①福祉学習年間計画をもとに、教科・総合的な学習の時間等を通して、福祉学習に取り組む。 ②社会福祉協議会との連携を図り、福祉教育の推進を図る</p> <p>(評価) ① 達成した ② 達成した</p> <p>成果と課題 ①年間指導計画に基づき、取り組みを行った。次年度も継続して取り組みたい。 ②福祉学習(車いす介助体験学習など)の計画・実施に関わって連携を図ることができた。今後も連携を続けたい。</p>	<p>①福祉学習年間計画をもとに、教科・総合的な学習の時間等を通して、福祉学習に取り組む。 ②社会福祉協議会との連携を図り、福祉教育の推進を図る</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した</p> <p>成果と課題 ①年間指導計画に基づき、取り組みを行った。次年度も継続して取り組みたい。 ②福祉教育の計画・実施に関わって連携を図ることが出来た。</p>	<p>①福祉学習年間計画をもとに、教科・総合的な学習の時間等を通して、福祉学習に取り組む。 ②社会福祉協議会との連携を図り、福祉教育の推進を図る。</p> <p>(評価) ①達成できた ②達成できた</p> <p>成果と課題 ①年間指導計画に基づき、取り組みを行った。担当者が適宜、取り組みについて声をかけていた。次年度も継続して取り組みたい。 ②福祉教育の計画・実施に関わって連携を図ることが出来た。</p>
⑦ 環境教育の推進	<p>行動プラン</p> <p>①教科・総合的な学習の時間等を通して、環境学習に取り組む。 ②逗子市の施策(グリーンカーテン等)を環境教育に生かす</p> <p>(評価) ① 達成した ② 達成した</p> <p>成果と課題 ①総合的な学習全体計画に基づき、各学年で取り組むことができた。 ②地域の方々と連携し「のちの森事業」に取り組んだ。</p>	<p>①教科・総合的な学習の時間等を通して、環境学習に取り組む。 ②逗子市の施策(グリーンカーテン等)を環境教育に生かす</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した</p> <p>成果と課題 ①総合的な学習全体計画に基づき、各学年で取り組むことが出来た。 ②今年度もグリーンカーテンを育てることで、環境教育の一助と成すことが出来た。</p>	<p>①教科・総合的な学習の時間等を通して、環境学習に取り組む。 ②逗子市の施策(グリーンカーテン等)を環境教育に生かす。</p> <p>(評価) ①達成した ②達成した</p> <p>成果と課題 ①総合的な学習全体計画に基づき、各学年で取り組むことが出来た。 ②今年度もグリーンカーテンを育てることで、環境教育の一助と成すことが出来た。</p>
⑧ 情報教育の推進	<p>行動プラン</p> <p>①発達段階に応じた情報機器操作内容を明確にし、情報機器活用能力の育成を図る ②情報リテラシーの育成に向けて、パソコン環境の整備を行うとともに、情報モラルの育成も図る</p> <p>(評価) ① 達成できなかった ② 達成した</p> <p>成果と課題 ①情報教育指導計画(全体計画)に基づいた指導を継続することで、全校の児童への指導の確実な定着をめざしたい。 ②情報教育担当者を中心に、総合的な学習の時間を通して取り組んでいる。次年度への継続課題としたい。</p>	<p>①情報教育指導計画をもとに情報教育に取り組む ②情報リテラシーの育成に向けて、パソコン環境の整備を行うとともに、情報モラルの育成も図る</p> <p>(評価) ①達成した ②達成できなかった</p> <p>成果と課題 ①情報教育指導計画に基づいた指導を実践した。 ②「携帯やスマートフォンに係る光と影」など、今日的課題について校内で十分課題共有し、指導に当たる必要があると感じている。次年度への継続課題としたい。</p>	<p>①情報教育指導計画をもとに情報教育に取り組む。 ②情報リテラシーの育成に向けて、パソコン環境の整備を行うとともに、情報モラルの育成も図る。</p> <p>(評価) ①達成した ②達成できなかった</p> <p>成果と課題 ①情報教育指導計画に基づいた指導を実践した。 ②携帯やスマートフォンに関する課題など、校内で十分課題共有し、指導に当たる場所までは行かなかった。次年度への継続課題としたい。</p>

## 学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(返子市立久木小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

2 地域に開かれた学校づくり

### 実施計画

#### ①実施計画の重点等

- ・学校支援地域本部事業を推進し、地域と連携した活動を進める。

#### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・久木小サポーターシステムの活用により、保護者、地域の協力を得る。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 地域への情報発信と 学校公開の工夫	①地域教育協議会を通して、地域に対して学校運営に関する理解を深める ②学校だよりやホームページ等で、学校の情報を広く伝える	①地域教育協議会を通して、地域に対して学校運営に関する理解を深める ②学校だよりやホームページ等で、学校の情報を広く伝える	①地域教育協議会を通して、地域に対して学校運営に関する理解を深める。 ②学校だよりやホームページ等で、学校の情報を広く伝える。
	(評価) ① 達成した      ② 達成した	(評価) ①達成した    ②達成した	(評価) ①達成した    ②達成した
	成果と課題 ①地域教育協議会の運営が円滑に進められた。学校への理解・協力が進んでいると感じる。継続して取り組みたい。 ②学校だよりを地域に回覧することにより、本校の教育活動等の理解が地域にも広がってきたと感じる。ホームページの更新を定期的に行うことができなかったため、次年度に向けて改善を図りたい。	成果と課題 ①地域教育協議会の運営が円滑に進められた。学校への理解・協力が進んでいると感じる。継続して取り組みたい。 ②学校だよりを地域に回覧し始めて1年半が経つ。以前に比べ、本校の教育活動等への理解が地域にも広がってきたと感じる。更に、今年度に入りホームページの更新を週に数回行ってきた。本校の教育活動を確認する保護者も増えてきていると感じる。また、災害時には、ホームページからそれに関わる情報を取ることが出来るようにトップページに工夫を施した。今後も、更なる改善を図り、適切な情報公開を目指したい。	成果と課題 ①地域教育協議会での取り組みの結果、学校への理解・協力が進んでいると感じる。継続して取り組みたい。 ②学校だよりを地域に回覧し始めて本校の教育活動等への理解が地域にも広がってきたと感じる。次年度に向けて、ホームページが市全体で変わるので、今後も、更なる改善を図り、適切な情報公開を目指したい。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 地域教育力の活用	①久木小サポーターシステムを活用し、学習支援、学校環境整備支援活動を進める ②校庭の芝生管理等の作業をサポーターシステムの協力を得て行う	①久木小サポーターシステムを活用し、学習支援、学校環境整備支援活動を進める ②校庭の芝生管理等の作業をサポーターシステムの協力を得て行う	①久木小サポーターシステムを活用し、学習支援、学校環境整備支援活動を進める。 ②校庭の芝生管理等の作業をサポーターシステムの協力を得て行う。
	(評価) ① 達成した      ② 達成した	(評価) ① 達成した      ② 達成した	(評価) ① 達成した      ② 達成した
	成果と課題 ①大豆作り、味噌作り、稲作は継続して取り組んだ。教職員と保護者・地域とのコミュニケーションを目的とした「わくわくフェスティバル」は、大盛況で目的を十分果たすことができたと感じる。次年度も実施したい。 ②課題は多いが、地域との協力・連携は十分に取れるようになっている。維持管理に関わって、より良い方法の研究・試行を進めたい。	成果と課題 ①大豆作り、味噌作り、稲作は継続して取り組んだ。教職員と保護者・地域とのコミュニケーションを目的とした「わくわくフェスティバル」は、毎年参加者も多く、目的を十分に果していると感じる。 ②課題は多いが、地域の協力・連携は十分である。維持管理等々に関わって、より良い手立ての研究・試行を進めたい。	成果と課題 ①大豆作り、味噌作り、稲作は継続して取り組んだ。教職員と保護者・地域とのコミュニケーションを目的とした「わくわくフェスティバル」は、毎年参加者も多く、目的を十分に果していると感じる。次年度は、地域の行事に、管理職以外の教員が参加できるようにしていきたい。 ②課題は多いが、地域の協力・連携は十分である。維持管理等々に関わって、より良い手立ての研究・試行を進めたい。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 学校評価を生かした学校の改善	①学校関係者評価委員会の評価を学校運営に生かす ②学校づくりアンケートを実施し、保護者・地域の意見・感想を踏まえ、学校運営の参考とする	①学校関係者評価委員会の評価を学校運営に生かす ②学校づくりアンケートを実施し、保護者・地域の意見・感想を踏まえ、学校運営の参考とする	①学校関係者評価委員会の評価を学校運営に生かす。 ②学校づくりアンケートを実施し、保護者・地域の意見・感想を踏まえ、学校運営の参考とする。
	(評価) ① 達成した      ② 達成した	(評価) ① 達成した      ② 達成した	(評価) ① 達成した      ② 達成した
	成果と課題 ①年間3回の学校関係者評価委員会を開催し、学校運営についての助言を受けた。児童の学習・生活の様子が分かるように開催時期を工夫したことで、より具体的な助言を得ることができた。 ②学校づくりアンケートを11月に実施し、次年度への課題を整理することができた。また、教育活動で大切にすること、連携を図ることなどについて、学校・保護者・地域で確認を図ることができた。	成果と課題 ①年間3回の学校関係者評価委員会を開催し、学校運営についての助言を受けた。児童の学習・生活の様子が分かるように開催時期を工夫したことで、より具体的な助言を得ることが出来た。その助言を参考に、学校経営方針の振り返りと次年度に向けた確認を行っている。 ②昨年から様式を変更した学校づくりアンケートを今年度も実施した。アンケートを集約することで、本校の課題を整理し、次年度の方向性を学校・保護者・地域で共有することが出来た。今年度は、児童へのアンケートも実施した。	成果と課題 ①年間3回の学校関係者評価委員会を開催し、学校運営についての助言を受けた。行事の日に開催するなど時期を工夫したことで、より具体的な助言を得ることが出来た。その助言を参考に、学校経営方針の振り返りと次年度に向けた確認を行っている。 ②学校づくりアンケートを児童・保護者に実施し、集約することで、本校の課題を整理し、次年度の方向性を確認することができた。今年度は、ホームページの改修時期とアンケート結果の掲載時期が重なってしまい、また、結果を保護者や地域にお知らせすることができていない。

## 学校教育総合プラン(第Ⅲ期)実施計画 平成27年度報告(逗子市立久木小学校) 2016.3.

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅲ 教員の指導力向上

○学校教育総合プランの項目

1 教員研修・研究の充実

### 実施計画

#### ①実施計画の重点等

・「共同的・創造的な学び合いをめざして ～より良い人間関係の中で、ともに学び合い豊かな心を育成する授業のありかた～」の研究を進め、各担任が授業公開を行う。

#### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・授業研究会、研修会に外部講師を招き、指導・助言を受ける。
- ・地域素材開発及び活用のため、地域への協力を求める。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 授業研究の充実	①委託研究推進校として、取り組んだ成果を研究発表会において発表する ②外部講師の活用を積極的に行う	①本校の研究テーマを踏まえて授業研究に取り組み、授業力の向上をめざす ②外部講師の活用を積極的に行う	①本校の研究テーマを踏まえて授業研究に取り組み、授業力の向上をめざす。 ②外部講師の活用を積極的に行う。
	(評価) ① 達成した      ② 達成した	(評価) ①達成した      ②達成した	(評価) ①達成した      ②達成した
	成果と課題 ①全担任が算数科を中心に公開授業を実施した。研究を通して確認できた子どもの姿をもとに、次年度への課題を明確にすることができた。 ②外部講師の研修を受けることで、授業づくりの具体について学ぶことができた。	成果と課題 ①全担任が算数科を中心に公開授業を実施した。研究を通して確認できた子どもの姿をもとに、次年度への課題を明確にすることが出来た。 ②外部講師の研修を受けることで、授業づくりの具体について学ぶことが出来た。次年度は、年3回の研修を予定している。(講師：横浜国立大学 池田敏和教授)	成果と課題 ①全担任が算数科を中心に公開授業を実施した。研究を通して確認できた子どもの姿をもとに、次年度以降の2年間の研究の取り組み方向性を明確にすることが出来た。 ②外部講師の研修を受けることで、授業づくりの具体について学ぶことが出来た。(講師：横浜国立大学 池田敏和教授)今後も指導を仰いで行きたい。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 授業評価の活用	①評価規準を生かした授業実践に取り組み、評価規準の見直し、検討を行う ②外部講師による授業評価を生かした授業づくりを行う	①学習状況調査の分析を活用する ②外部講師による授業評価を生かした授業づくりを行う ③評価規準を生かした授業実践に取り組み、評価規準の見直し、検討を行う	①学習状況調査の分析を活用する。 ②外部講師による授業評価を生かした授業づくりを行う。 ③評価規準を生かした授業実践に取り組み、評価規準の見直し、検討を行う。
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した	(評価) ①達成した ②達成した ③達成した
	成果と課題 ①指導と評価の一体化を踏まえ、評価規準を意識した授業づくりを進めることができた。 ②研究授業の際の指導助言を授業に生かすよう取り組んだ。	成果と課題 ①逗子市の分析、学校独自の分析を踏まえ、当該学年の児童の良さを伸ばし、課題については共有するよう努めた。 ②研究授業の際の指導助言を授業に生かすよう、ブロック研究を主に取り組んだ。 ③指導と評価の一体化を踏まえ、評価規準を意識した授業づくりを進めることが出来た。	成果と課題 ①逗子市の分析、学校独自の分析を踏まえ、課題については共有し、指導の工夫改善に取り組んだ。 ②研究授業の際の指導助言を授業に生かすよう、ブロック研究を主に取り組んだ。研究会でも意見が活発に交わされ、取り組む意識も更に高まった。 ③指導と評価の一体化を踏まえ、評価規準を意識した授業づくりを進めることが出来た。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 研修事業の充実	①初任研、年次経験者研修において、校内協力体制を作り、研修指導に当たる ②校内及び校外の研修会、研究会への参加を促進する ③逗子市教育指導教員を積極的に活用する	①初任研、年次経験者研修において、校内協力体制を作り、研修指導に当たる ②校内及び校外の研修会、研究会への参加を促進する ③逗子市教育指導教員を積極的に活用する	①初任研、年次経験者研修において、校内協力体制を作り、研修指導に当たる。 ②校内及び校外の研修会、研究会への参加を促進する。 ③逗子市教育指導教員を積極的に活用する
	(評価) ① 達成した ② 達成できなかった ③ 達成した	(評価) ①達成した ②達成できなかった ③達成した	(評価) ①達成できた ②達成できなかった ③達成できた
	成果と課題 ・成果と課題 ①計画的な研修が実施できた。 ②校内研究において全担任が算数科を中心に研究授業を行った。教育研究所の各種研修会に積極的に参加した職員が増加した。しかしながら、校内における還流が課題である。 ③臨任・非常勤だけでなく経験の浅い教員への指導にも活用することができた。	成果と課題 ①計画的な研修を実践し、まとめることが出来た。 ②校内研究において全担任が算数を中心に授業実践をしてきている。しかし、研修会及び教育研究所主催各種研修会への参加は、多くの職員が参加しているとはいえない状況にある。参加率が以前より増えてきているとはいえ、継続課題としたい。 ③臨任・非常勤、経験の浅い教員への指導に十分活用することが出来た。	成果と課題 ①計画的な研修を実践し、まとめることが出来た。 ②校内研究において全担任が算数を中心に授業実践をしてきている。研修会及び教育研究所主催各種研修会への参加は、以前より増えてきているが、平日に複数の研修会・研究会が重なった場合には学校事情として参加を控えてもらうこともあった。 ③学校所属の「少人数指導・校内指導教員」及び教育研究所所属の「指導教員」とも臨任・非常勤、経験の浅い教員への指導に十分活用することができ、指導を受けている教員も含め、学校としてその指導に感謝している。